

# 2012年下期の活動アーカイブ

## 震災孤児87名に「生活・教育支援金」を10万円ずつ支給しました！

3月21日にJETOみやぎの理事会が開催され、2012度の「生活・教育支援金」の支給対象者87名の決定と支給額10万円が決定し、3月29日に給付致しました。支給した保護者、子どもたちより続々と御礼のコメント、お写真等をご提供頂いており、今後もホームページやニュースレターで紹介して参ります。



## 合格・進学報告が寄せられています！

昨年8月にサマースクールに参加した子どもたちから高校合格の報告を頂きました。また参加できなかったそのほかの子どもたちからも無事に志望する高校に合格した、と報告を受けています。皆さん不安の中で、一生懸命に勉強に取り組み、喜びいっぱいの様子が伝わってきました。また今春高校を卒業する子どもたちからも続々と専門学校や大学、就職したとの連絡もありました。合格・進学進級おめでとうございます！

## バースデーカードを送っています！

誕生日毎に子どもたちへ誕生日カードと図書カードをお送りしています。4月からはシンガーソングライター「やなせなな」(浄土真宗本願寺派僧侶)さんからご提供頂いた「まけない!」タオルと「CD」も一緒にお届けしています。



## ご支援のお願い

すべての皆さまからのご寄付・賛助によって成り立っています。活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも皆さまには、JETOみやぎの活動にご理解とご賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願い申し上げます。

**ご寄付(税法上「一般寄付金」扱い)**  
ご寄付……………1口1,000円より  
JETOみやぎ支援グッズを差し上げています。  
※受領証をご希望の方は事務局までご一報下さい。

**賛助会員**  
個人……………年・1口10,000円より  
法人……………年・1口10,000円より 1口よりご賛助頂けます。  
賛助会員について  
JETOみやぎの趣旨にご賛同いただき、震災孤児への継続的な長期支援を頂ける個人や法人の方が対象です。賛助会員様には事務局が発行するニュースレターや主催する特別企画へのご招待などを予定しています。

### お振込先 ※お振込手数料はご負担ください

七十七銀行 卸町支店  
普通口座5786851  
NPO法人 JETOみやぎ (エヌビーオーホウジンジェットミヤギ)  
新たに郵便振替口座を設けました。  
加入者名: 特定非営利活動法人ジェットみやぎ  
口座番号: 02250-8-135678  
ご希望者には振込票をご郵送いたします。

### お問い合わせ

電話: 022-782-0303  
メール: info@jeto-miyagi.org  
ホームページ: http://jeto-miyagi.org

JETOみやぎ運営事務局 事務局長 野川貴之

前回のニュースレター (vol.2) 訂正のご連絡

- 皆様からのご寄付・ご支援欄 富士ゼロックス宮城株式会社 誤 ⇒ 中央: 取締役 亀井様 正 ⇒ 中央: 取締役 齊藤様
  - ご支援を頂いている法人様欄 法人・団体ご賛助 誤 ⇒ 曹洞宗 春日山 林泉寺 正 ⇒ 曹洞宗 補陀山 林泉寺
- 関係各位の皆様にご迷惑をお掛けしてしまい、申し訳ございませんでした。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

## 下期を終えて…

昨年度もご支援者の皆さまからチャリティイベントや寄付の呼びかけ、支援金のお問い合わせを頂き、本当に感謝しています。最近の傾向として、「顔の見える支援をしたい。」「寄付の使途が明確にわかる団体に寄付をしたい。」というお声が多くなっています。事務局としては当然のことながらNPO法人として市民の皆さまへの情報公開や活動報告にこれまで以上に努めて参ります。震災孤児全員を個別訪問する中で、保護者そして子どもたちそれぞれの立場での悩みや課題を抱えていることも段々とわかってきました。JETOみやぎでは、これからも子供たちや保護者としてしっかり向き合い、個別状況に応じた支援を子どもたちが成人するまで粛々と続けて参ります。これからが本当の支援の始まりです。

# JETOみやぎ NEWS vol.3

2013年春号♪



3.11 東日本大震災から2年が経過致しました。震災直後は、両親を亡くしたことでショックと悲しみで身動きが取れなかった子どもたちも少しずつ心の平静を取り戻し、進学や進級、就職などそれぞれの道に向けて確かな一歩を踏み出しているように感じます。サマースクール(夏期勉強合宿)やオーストラリアへのホームステイに参加できる子どもたちも見受けられました。今期はいよいよ税制優遇が受けられる「認定NPO法人」取得に向けて申請準備を致します。今後もJETOみやぎは『一人一人の震災孤児に長期的に「寄り添う」「見守る」という視点』で接しながら、子どもたちの未来のために、力の及ぶ範囲で最大限の支援を続けて参ります。皆様からのより一層のご支援を宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人JETOみやぎ  
理事長 菅原 裕典

## 震災孤児支援のためのチャリティ交流会が開催されました

第1回 2012年11月17日  
会場: Barbaresco (仙台トラストタワー1階)  
第2回 2013年3月2日  
会場: 芙蓉閣 (大崎市古川)



「若い力で震災孤児支援をしたい!」と大崎市民病院の小児科医の宮野峻輔さん(29)が立ち上がり、若手医療スタッフや同世代の実業家ら有志で「温かい心プロジェクト」を発足。メンバーを中心に「震災孤児支援チャリティ交流会」を開催、20~30代が中心の100人を超える参加者らと震災孤児の現状や必要な支援、具体的な今後の行動につなげる仲間作り、交歓がされました。プロジェクト代表の宮野さんは「震災の風化が進む中、心にとどめて支えることが大切だ。何が出来るかを個人々が考え、支援を続けたい。」との思いを語って下さいました。

二回の交流会を通じての合計のチャリティ額は【589,729円】。この交流会の様子は地元新聞にも大きく取り上げられました。交流会を通じ、参加者は震災孤児やその保護者が置かれている状況について考えるきっかけとなり、子どもたちへの次なる支援も検討されました。主催者各位のご尽力に心から感謝致します。



◀写真左端がJETOみやぎ副理事長・斎藤正人氏、写真左より2番目が宮野様

## ホームステイプログラムに子どもたちが参加しました



### オーストラリア・クイーンズランド州 サンシャインコースト

ザ・フレンドシップフォース宮城様からのご招待で2013年3月23日から4月1日までの10日間、5名の震災孤児がホームステイプログラムに参加し、オーストラリア、クイーンズランド州のホストファミリー宅で過ごしました。研修ツアーは交換ホームステイを支援する米国に本拠を置く国際NPO「フレンドシップ・フォース」が主催。JETOみやぎからの5名に加えて、宮城、福島両県合わせて22人の中高生が参加しました。子どもたちは現地サンシャインコースト市の市長を訪れ、先住民アボリジニの文化を学んだり、クリケットを体験したりして地元の学生たちと交流しました。帰国後は報告会が行われ、参加者はホームステイ先でちらし舞を振る舞ったり、久しぶりにきれいな海で泳いだりした思い出を語ってくれました。皆「英語を勉強してまた訪れたい」と感じていたようです。このツアーの様子は現地地元新聞やテレビでも大きく取り上げられ、震災で被災した子どもたちがツアーを通じて痛みや悲しみ、困難を乗り越え、笑顔を取り戻していく様子が掲載されました。

# 皆様からの寄付・ご支援

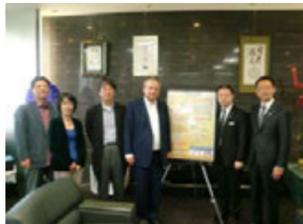
誌面の都合上、昨年度下期(11月1日から)にご支援いただいたチャリティ活動・ご寄付の一部をご紹介します。  
この他にも多数のご支援をいただいております。

## 10月24日 愚鈍院 様

仙台は新寺にある『愚鈍院』様にて「震災孤児復興支援」をテーマにチャリティコンサートが開催されました。混声合唱団と女性合唱団による大変美しくも力強い音色が院内の伽藍に響き渡りました。JETOみやぎは後援として、受付と募金の対応、皆さまへのご挨拶をさせて頂き、「皆様の唄から頂いた力強さ、美しさ、何より温かさを震災孤児一人一人にお伝えして行きます！」と誓って参りました。

## 10月27日 ドイツ鉄道 Norbert Kuna 様

ドイツ鉄道の国際事業開発部に勤務する、「ノベルト・クーナ」様がJETOみやぎに訪され、震災孤児のために寄付をされた様子が11月9日(金)の河北新報の記事で紹介されました。クーナ様はJETOみやぎの支援者を通じてご紹介頂き、自身の自宅改築を祝うパーティに招待した知人約50人から「ご祝儀の代わりに寄付を」と呼びかけられ、【1,230ユーロ(約16万円)】を集められました。来訪時にクーナ様は「皆さんは独りではない。過去は変えられないが、未来は変えられる！」と力強くそして暖かいメッセージを残されました。



▲写真左端〜3番目がクーナ様のご友人の方々、4番目がクーナ様。

## 11月1日 マックスホーム 株式会社 様

仙台で不動産業を営む「マックスホーム(株)」様のブランド誕生10周年と社名変更を記念して、同社主催による経済アナリスト「森永卓郎氏」の講演会が電力ビルホールで行われ、企業経営者、ビジネスパーソンを中心に約1,000名の方が来場されました。講演前に、同社鈴木清剛社長よりJETOみやぎ理事の「矢部亨」氏に目録の贈呈があり、講演中もチャリティ活動が行われました。森永先生の演題も「国際経済情勢と日本経済の行方」というテーマからは想像もつかないほど分かりやすく、ユーモアたっぷりな内容でしたが、何よりも震災復興支援のチャリティという貴重な機会を頂いたことに深謝です。

## 11月2日 こころ♥キャンドル 様



「こころ♥キャンドル」(赤坂千秋代表)は、宮城県石巻市の仮設住宅にお住まいの方に、疲れた心を癒していただく、心の支援として、内職を提供し、こころ♥キャンドルのピンに1つ1つ手作業で絵をつけてられているそうです。赤坂様は、自らも石巻在住ということで被災当時の体験、そして自らを襲った心の病で苦しみながらも、全国からの支援者の存在を見ながら、家族の絆を再確認し、少しずつ乗り越えて、今度は自らが支援者となることで仮設住宅に住む方々の心のケア、そしてJETOみやぎをご支援頂くに至りました。

◀こころ♥キャンドル。

## 11月6日 林泉寺 様

「林泉寺」様(仙台市泉区実沢)の本堂でOrchla木管五重奏とピアノによる日本の歌の「伽藍 DE コンサート」が3年ぶりに開催されました。この中で林泉寺ご住職の三宅俊幸様は「震災が忘れ去られてしまわぬために、寺として今後も活動を続けたい。」と語られ、参加者約300名の方々に震災孤児への支援を求める貴重な寺院ライブとして地元新聞にも掲載されました。



▲伽藍 DE コンサートの様子。

## 12月15日 ワンダーベル 様



ワンダーベル代表でプリザーブドフラワーアーティストの飯田孝子様より「震災孤児へのプレゼント」として「くまのぬいぐるみ(ハッピーくまちゃん)」をご提供頂きました。飯田様からは「このハッピーくまちゃんを受け取った子供たちの笑顔と成長を思い浮かべながら見守って行きたいと思います。」とコメントを頂きました。「可愛い!」「有難う!」「(ぬいぐるみの)お友達が増えたよ!」「嬉しい!」「お願い事いっぱいあるんだ!」「(満面の笑み) JETOみやぎでは、ご支援者皆さんの代わりに12月24日と25日の2日間で小学校低学年の震災孤児にXmasプレゼントをお渡し致しました。

◀ハッピーくまちゃん。

## 12月26日 アジマックスグループ 様

飲食店チェーン(株)アジマックス(秋田市)様より仙台市内の系列店2店(かつや仙台六丁の目店と酉や喜兵衛)の年間売り上げの一部をJETOみやぎにご寄付頂きました。同社佐藤公重社長は「復興の希望となる子どもたちを支援し、故郷宮城に恩返ししたい。一番守ってやらなければならないのは両親を失った子どもたちだ。子どもたちが成人するまで20年間寄付を継続できるよう努力する。」と大変力強いお言葉を頂きました。

## 2月25日 株式会社 マコセージェンシー 様

JETOみやぎの協賛会社(株)清月記で会葬礼状等のお取引関係がある、広告代理店の(株)マコセージェンシー様より子供たちへの絵本のご提供を頂きました。また、併せて社員全員がピンバッジを付けて震災孤児支援を表明頂いており、ご寄付も頂戴致しました。鹿児島からのご支援に感謝致します。



マコセージェンシー様よりお手紙と目録。▶

## 3月6日 まごころライフサービス 株式会社 様



愛知県碧南市にある葬祭会社「まごころライフサービス(株)」様より、2月16日(土)法要会館「まごころ館」にて開催された真宗大谷派 岡崎教区14組教化委員会主催の第54回壮年対象真宗講座での募金に社員一丸でご協力頂きました。また、4月21日(日)の人形供養祭でも多くの浄財を募って頂きJETOみやぎへ寄付頂いております。

◀人形供養祭の様子。

## 3月7日 仙台キリンビバレッジサービス 株式会社 様

仙台キリンビバレッジサービス(株)様のご協力の下、JETOみやぎのチャリティ自販機が一番町の「スマイルホテル 仙台国分町」に2台設置されることになりました。自販機飲料の売上のうち一部がJETOみやぎへと寄付されます。支援元は「株式会社久保田本店」様です。同社久保田 定 社長からは、「自販機設置を通じて、少しでも震災で親を失った子供たちの支援になれば。」とのメッセージを頂いております。本内容は朝日新聞、河北新報にも掲載されました。

右が久保田社長。▶



## 3月8日 国際ソロプチミスト 様

女性の地位向上、奉仕と人間理解の精神の高揚、国際理解・友好への貢献を目的とする国際的な奉仕団体「国際ソロプチミスト 日本北リジョン 仙台クラブ」様より支援金を頂きました。



左が同団体会長の小島東子様。▶

## 3月12日 株式会社 ヌマザワ 様

山形県新庄市の葬祭会社「(株)ヌマザワ」様での会館イベントにてFM山形の公開収録が行われ、歌手で浄土真宗本願寺派僧侶の「やなせなな」さんによる「震災復興チャリティコンサート」が行われ、JETOみやぎにチャリティを頂きました。コンサート終了後、「やなせなな」さんからも激励の色紙とメッセージ、浄財を頂き、震災孤児のため自身の「まけないタオル」や「CD」をご提供頂きました。子どもたちにはバースデーカードと共にお届けしています。

## 3月14日 ダッチャー奨学金 事務局 様

宮城のご当地ヒーロー「未知ノ国守ダッチャー奨学金」より昨年に引き続き今年もご寄付を頂きました。この模様は東日本放送(3月14日(木))、エフエム仙台(3月14日(木))、ミヤギテレビ(3月15日(金))でも放映されました。



▲右がダッチャー。

## 3月18日 日本運行システム 株式会社 様

車両運行サービスの「日本運行システム(株)」様(東京都中央区銀座)よりJETOみやぎにご寄付を頂きました。同社村山 陽 社長は「本支援を通じて、震災孤児の生活・教育の支援に少しでもお役に立てれば有難い。今後も支援させていただきます。」と大変温かいお言葉を頂きました。



▲右が村山社長。

## 3月19日 株式会社 オレンジライフ 様

昨年に引き続き、和歌山県有田郡にある葬祭会社「(株)オレンジライフ」様の支援イベント「ボランティアキッズ屋台村」にて地元の子どもの手でチャリティを実施頂き、東北応援の気持ちを込めて、子供たちに花形の手形を押してくれました。



▲子どもたちと花形の手形。

## 4月12日 キワニスクラブ共同募金 仙台キワニスクラブ子ども基金 様

2011年3月11日の東日本大震災で被災した子ども達を支援することを目的として設立された「仙台キワニスクラブ子ども基金」様と世界中から寄せられてきた義援金を子ども達のために活用するため設置され、東日本大震災罹災地にある4キワニスクラブが共同で運営する「キワニスクラブ共同募金」様よりご寄付を頂きました。JETOみやぎは2月28日(木)の第902回例会で講演させて頂き、多くの方々よりご支援を頂戴致しました。

## 4月26日 株式会社 佐浦 様

浦霞醸造元の(株)佐浦様より、JETOみやぎへご寄付を頂きました。佐浦弘一社長は「地域の復興なしには自社の真の復興はない」という考えより、震災後国内外よりいただいているご支援・応援を地域の復興へつなげるプロジェクトを実施しています。これまで浦霞の売上1本につき5円また弊社主催イベント参加費の一部を地元宮城県や地域の復興のためにも寄付、資材等の寄贈をされているそうです。



▲右が佐浦社長。

## 清月記からのチャリティ

当法人のスポンサー企業である総合葬祭業「(株)清月記(宮城県仙台市)」から今年も大きな支援をいただいております。同社が行う会館イベント「家族想フェア」「マンスリーコンサート」そして、セカンドライフを充実させる多彩な情報とサービスを提供している「ライフスタイル・コンシェルジュ」での「ラウンジセミナー」での参加費500円をJETOみやぎにチャリティ頂きました。2013年の2月から4月までの3ヵ月間でチャリティ額は598,342円となりました。また、菅原裕典理事長((株)清月記 代表取締役社長)が震災から2年の歳月を経て振り返る「凄絶」「苦渋」「葛藤」の日々を著書にした「東日本大震災『葬送の記』」が出版され、この中で菅原理事長のJETOみやぎ設立の経緯や震災孤児への想いが綴られています。本書の印税の一部がJETOみやぎに寄付されることになっています。



## 商品協賛シールも好評!



シール1枚につき1円が寄付される「JETOみやぎ商品協賛シール」が好評です。会葬礼品や香典返しへ貼付頂いている清月記の協力会社様を中心に、中には直売トマト販売の中村トマト園様(鹿児島県薩摩郡さつま町)や山口県萩市の「(株)コープ葬祭」様など遠方からのご協力もごございます。(写真はコープ葬祭様での例です)

商品協賛シールは、1枚あたり1円が寄付されます。購入は1ロールから(500枚・価格1,000円)。使い方は自由です。

